

# 株式会社緑水亭 環境活動レポート 2007年度



びわこ 緑水亭

## 【緑水亭環境方針】

### 「環境理念」

顧客満足の精神

感謝報恩の精神

地域発展の精神

利益貢献の精神

我々は琵琶湖のほとりに位置する宿として、お客様第一主義をつらぬき、すべてのお客様、取引先に感謝し恩に報いることを貫きます。また事業の地盤であるおごと温泉を含む滋賀の地域発展に貢献する事業活動を行い、利益を社会やお客様のために役立てるように誓い、以下の環境方針に基づいた環境保全活動に取り組みます。

### 「環境方針」

1. 我々は、宿泊者、来訪者への飲食、宿泊等の事業活動において、琵琶湖の地域環境を保護の観点を持ち、取り組みます。
2. 我々は、環境マネジメントシステムの継続的環境改善及び、汚染の予防を行います。
3. 我々は、環境側面に関係して適用可能な環境関連法規及び我々が同意するその他の要求事項を順守します。
4. 我々は、省エネルギー、廃棄物の削減などの環境目的目標を定めます。環境配慮型製品の購入を重点課題とします。
5. 我々は、組織で働く者及び業務を委託する事業者に、我々の環境方針及び環境活動を周知します。
6. 我々は、環境方針を文書化し、一般の方が入手できるようにホームページ上に公開します。

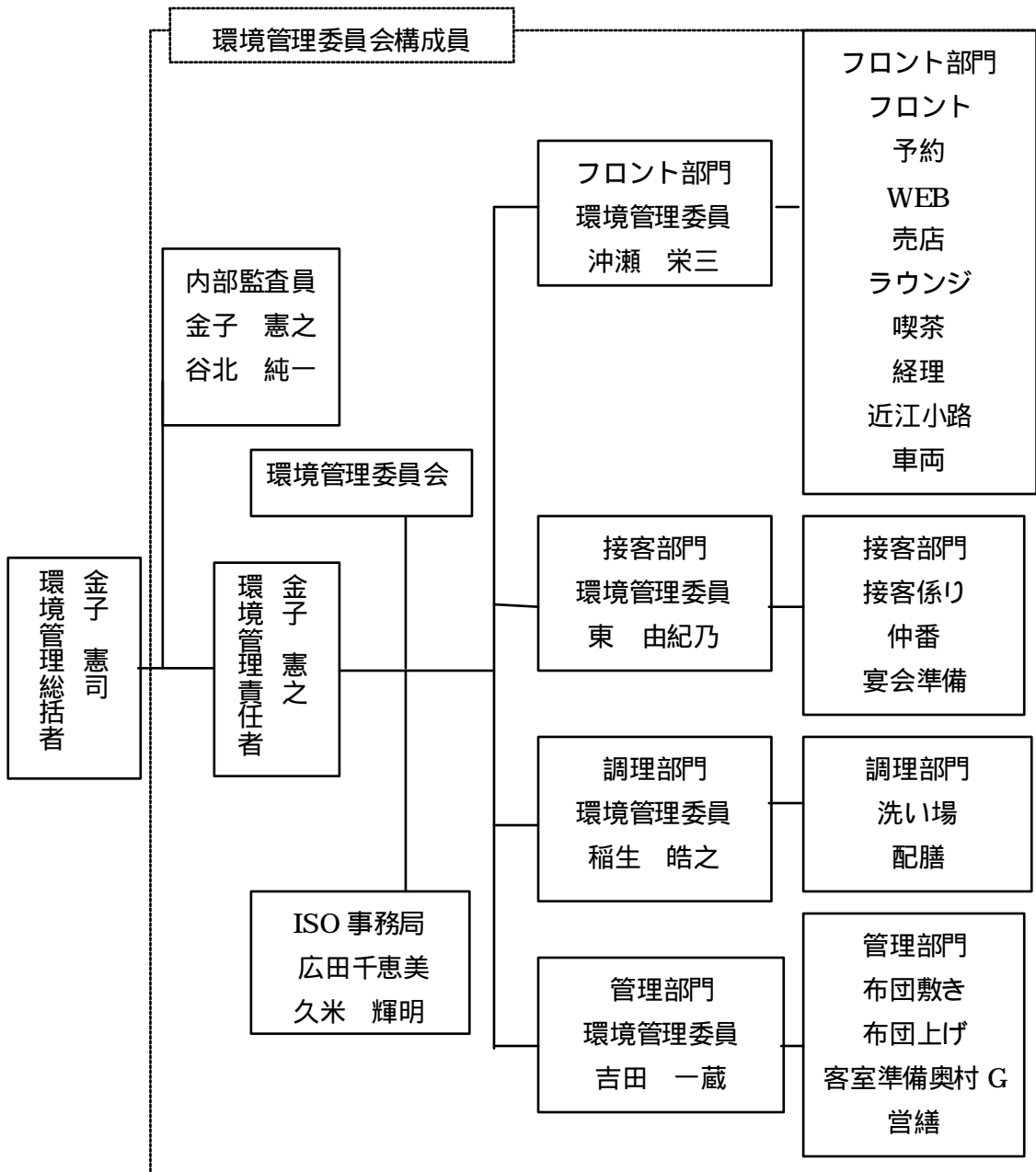
株式会社緑水亭（びわこ緑水亭）

代表取締役 金子憲司

会社概要

会社名 : 株式会社緑水亭  
 所在地 : 滋賀県大津市雄琴 6-1-6  
 事業内容 : 旅館業その他関連する事業すべて  
 代表取締役 : 金子 憲司  
 資本金 : 70,000,000 円  
 従業員数 : 98 人 8時間換算  
 敷地面積 : 6,480 m<sup>2</sup>  
 延床面積 : 9,389 m<sup>2</sup>  
 沿革 : 平成 8 年 5 月会社設立  
       平成 17 年 11 月新館びわの風オープン

・ 環境活動の取り組み体制



・ 認証取得内容

ISO 14001取得

登録番号 EC06J0061

取得日 2006年7月10日

・ 環境活動の内容と実績

2007年度環境改善活動実績 2007年1月1日から2007年12月31日

環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
ガス 2006年度 売上実績対比 4%削減	スチッチ適性管理 冷暖房の温度設定の徹底 設備の見直し	96.6	95.7 5.0%削減	A
電気 2004年度 売上実績対比 3%削減	スチッチ適性管理 白熱灯から蛍光灯へ変更	138.4	129.9 8.9%削減	A
廃棄物 2006年度 売上実績比 3%削減	食品リサイクル推進 調理場の梱包材の返却 分別の徹底	97.6	85.2 12.7%削減	A

・ 具体的環境活動のご紹介

毎月の目的・目標の達成率のグラフ化と掲示

後述の環境教育の感想文から末端従業員まで数字が伝わっていないと指摘を受け、毎月環境管理委員会終了後に目標値と達成率のグラフを掲示するようにしました。これにより全従業員の意識付けになるかと思えます。

館内の電球を蛍光灯へ変更

以前より部分的に電球型蛍光灯を使用していたが、全部の電球を電球型蛍光灯に変更しました。これによる投資額は630,000円ほどになったが、約1/5の電力で同程度の照度が得られるということで、年間経費削減効果は740,000円になると試算しました。

全社員環境教育(4月・10月)

ISO14001取得後毎年行っています環境教育ですが、今年は4月に「流通業の為にISO14000シリーズ」のビデオ、10月にも「良くわかる環境問題入門」のビデオを見て勉強しました。受今年も全従業員約150人がビデオを見て感想文を書いてくれました。

## ・環境関連法規制の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を毎年4月に確認し、関係する機関や関係者からの指摘・訴訟等はありません。

## ・2008年度活動の評価と今後の課題

2年間の環境教育で従業員の環境に対する認識は高まってきました。今後はもっとより専門的な教育が必要だと思います。

ゴミの分量の削減は、数値では削減できていますが、何かを対策したためではないので、来年以降きびしいと思います。分量の量り方にも問題があると思います。

環境管理員の退職等があった場合、引継ぎがうまくいっていない場合があります。今度はサポート体制を作り無駄の無いようにします。

各月の重点事項を各部門が設定しているにも関わらず、その反省と評価がない。今後は毎月の環境管理委員会で各部門代表に何をしたのか発表してもらい評価していきます。

## ・第3者の証明・意見

### 審査機関の証明

当社のマネジメントシステムは規格の要求事項に適合し、有効に実施されていると判断し、認証維持を推薦します。

改善の余地はありますが、不適合事項はなく、システムならびに実務面でも、維持されていると評価します。

JACO 審査チーム 島本 幸三